

ハッピータイムだより

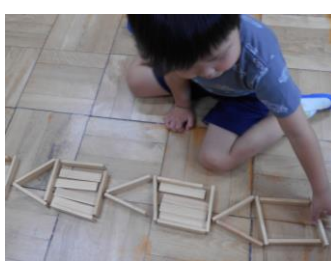
No.2

令和5年6月26日
東大阪市立北宮こども園

園生活にも慣れ、好きな遊びを見つけて遊び始めたり、友だちを誘って遊び始める姿が見られるようになってきました。毎日のハッピータイムを楽しみにしている子どもたち。晴れの日でも雨の日でも「ハッピータイム始めます」の元気な声が聞こえてきます。

<カブラ遊びに注目!!>

先日の参観で年長児が遊んだ『カブラ』。遊び方はそれぞれです。一人で集中して遊ぶ子、友だちと相談しながら協力して遊ぶ子、自然と隣り合わせた友だちと遊びが進んでいきます。子どもたちで考え、倒れたり、時には倒されてしまったり、思い通りにいかないことも沢山あります。その都度、どうするか考え、試したり、話し合ったりしながら遊びを楽しんでいます。



4歳児5歳児一緒に協力して高く積んでます。「ぼくな、渡す役やねん」嬉しそうに教えてくれました。



「そーっと」「順番ね」と友だちと相談しながら高く積んでいます。



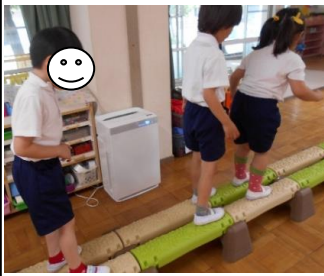
数日後



一人で集中して遊びを楽しんでいます。「これは道路。迷路みたいやろ。こっちからいける。」と教えてくれました。

道路遊びを楽しんでいた数日後。今日は部屋を飛び出して道路がどんどん伸びていきました。「そら組まで行くねん」と伸ばす子。「そーっと通ってみよう」と通る子。そら組まで行くと、Uターンして戻ってきました。

<6月の遊びの様子…雨の日は保育室でハッピータイムです>



そらぐみの部屋は「身体を使って遊ぶ部屋」に大変身。子どもたちでマットを運んだり、「ここ落ちたらあかんねん」とブロックをつなぎ合わせて楽しいコースの完成です。

自分たちでコースを考え、友だちと協力して作り上げていく楽しさも感じています。遊びを楽しんだ後は、片付けも自分たちで行います。5歳児が年下の友だちに教えてあげたり、手伝ってあげたりとほほえましい姿が見られます。



手と足、ピンって伸ばせてる？
マットから落ちたらダメやで。



「みてみて素敵な指輪でしょう」
(フルーツの指輪が光っていました。)

作って遊ぶ部屋の準備も子どもたちで行います。

材料や素材を選び、何を作るか自分で考えたり、友だちや、お兄ちゃんお姉ちゃんに教えてもらったりしています。作って終わりではなく、作った物で遊びながら友だちと関わり、イメージを膨らませています。



「ままごとの部屋」で先生に作ってもらったお寿司をおいしそうに食べていると…

「ぼくも、わたしも作りたい!」「先生教えて」と机に集まってきました。自分で作りたい!意欲、とても大切です。



遊びに集中し、楽しかったと満足感を味わうことが明日の遊びへの意欲につながります。今日の遊びが明日につながり、日々工夫を重ね、「明日は何して遊ぶ」「次はこうしてみようかな」とワクワクできる遊びを子どもたちとたくさん経験していきたいと思います。